

働き方改革アクションプラン

会社名	日鉄物産株式会社	従業員数	②1,000人～4,999人
------------	----------	-------------	----------------

① 長時間労働の是正（KPI）

- 2020年度までに、所定時間外労働時間を2016年度比 20%削減し、平均24時間以内とする。
- 2020年度までに、20時以降勤務を原則禁止とする。

【働き方改革スローガン「Active20(アクティブトゥエンティ)」(2017年7月)】

① 長時間労働の是正（行動計画）

- 長時間労働の実績を上司、人事部がチェックし、毎月社長以下取締役間で共有（2016年度～）
- 業務フロー、マニュアルを整備し、業務を効率化
- 会議ルールの設定、メールマナーの整備、PCスキル向上研修の実施
- マネジメントスキル向上施策の実施
- ノー残業デー（毎月第2、第3水曜日）の徹底
- 21時以降勤務、及び休日出勤の事前申請・承認の徹底（2018年度）
- 日曜・祝日の出勤禁止（2018年2月導入）

* 2016年度所定時間外実績 平均30時間（全社員）

* 現行の勤務ルールは「21時以降は原則勤務禁止」

働き方改革アクションプラン

会社名	日鉄物産株式会社	従業員数	②1,000人～4,999人
------------	----------	-------------	----------------

② 年休の取得促進（KPI）

○2020年度までに、年次有給休暇取得率を2016年度比 20%増加し、平均70%とする。

【働き方改革スローガン「Active20(アクティブトゥエンティ)」(2017年7月)】

② 年休の取得促進（行動計画）

○年次有給休暇の計画的取得制度の導入

- ① 組織単位で年次有給休暇の取得計画を半期ごとに作成し、人事部へ提出する。
- ② 社員全員が年間10日以上もしくは当年度付与日数の50%以上取得を目指す。（就業規則にも規定し、会社と社員双方の努力義務としている）

○アニバーサリー休暇の推進

本人の誕生日及びその翌月、二親等以内の家族の誕生日及びその翌月に、年次有給休暇の取得を奨励する制度の活用

○サマーホリデー制度の推進

7～9月の夏季期間中は、年次有給休暇取得を積極的に奨励する

* 2016年度年次有給休暇取得実績 58%（11日）

働き方改革アクションプラン

会社名	日鉄物産株式会社	従業員数	②1,000人～4,999人
------------	----------	-------------	----------------

③ 柔軟な働き方の促進（KPI）

○2020年度までにテレワークを導入する。

③ 柔軟な働き方の促進（行動計画）

○フレックスタイム制、育児・介護短時間勤務等、柔軟な勤務制度の社員への一層の啓蒙（例、リーフレットの作成、配布等）

○働き方を考えるミーティング（カエル会議）を職場単位で行い、「ありたい姿」と「取り組み方法」を検討、好事例を社内共有